

YOSANO

広報よさの

No.110

2015

4

●今月の表紙

岩屋小学校卒業式（3月23日撮影）

●主な記事

02 「京都丹後鉄道」として再出発

04 私はココにいます

16 まちの話題ワイド（滝の千年ツバキ）



KTRあかまつ・あおまつを見送るまめっこまいちゃん

PHOTO TOPICS



町内を駆け抜けるKTR車両



野田川駅に球根を植える山田保育所園児たち



昨年5月25日くろまつ車両の運行開始



200円レール切符を利用してお出かけ



通勤トレインとあおまつが並ぶ



タンゴエクスプローラー号の到着



野田川駅ですれ違う車両

特集

北近畿タンゴ鉄道 (KTR) 地域と歩んだ25年の歴史に幕 「京都丹後鉄道」 として再出発

地域と歩んだ25年

北近畿タンゴ鉄道(KTR)は、JRから運営を引き継ぎ、平成2年に開業。25年間にわたり、通学や買い物など沿線住民の足を担うとともに、大阪や京都と丹後地域を結ぶ交通手段として、地域の発展に貢献してきました。

しかし、開業当初から厳しい経営が続ぎ、乗客は平成5年度の303万人をピークに減少し、平成24年度には187万人に。府や沿線自治体などが連携して、さまざまな赤字打開策を講じてきましたが回復には至りませんでした。



京都丹後鉄道 (丹鉄) として生まれ変わります

そうした中、府県および沿線市町は平成25年9月、民間の自由な発想を採り入れようと、KTRが車両などの施設を保有したまま民間に鉄道運行を委託する「上下分離方式」の導入を発表。昨年5月、公募で高速バスの運行や移動ポータルサイトを運営するワイラーグループの持ち株会社であるワイラーアライアンス株式会社が選ばれました。

昨年12月にKTRと同社、沿線9自治体の連名で国に提出していた「KTR再構築実施計画」が3月11日に認定を受け、ワイラー社が運行会社として正式に決まりました。4月1日から子会社のワイラートレインズ株式会社が運行を担い、「京都丹後鉄道」として再出発しました。

Interview “交通革新” と “まちづくり” が連携することで、地域の価値を向上する



WILLER TRAINS 株式会社
代表取締役 村瀬 茂高 (むらせ しげたか)

私たち WILLER グループが目指す地域の価値向上。それは、利便性の高い高次元交通ネットワークの実現(交通革新)により、ストレスのない便利で自由な移動を沿線地域全体に提供すること。そして、豊かな自然や食・文化など地域の観光資源をはじめ、それぞれの市町の良さを活かした広域的なまちづくりを行うことです。

これら沿線自治体の皆さんをはじめ各種事業者の皆さんと協力の上、「交通革新」と「まちづくり」の連携によるシナジー(相乗効果)を創造することで、沿線で生活している人が望む都市機能・生活水準の向上を実現することにあります。

さらに地域の雇用や教育環境づくりにも力を入れ、都心で生活する若い人が移り住みたくなる魅力ある地域への発展につなげていきます。

わたしは ココにいます!

4月1日付の与謝野町職員人事異動
と全職員の配置をお知らせします!
(括弧内は前所属)



岩滝庁舎
総務課
課長 浪江 学
主幹 平野 公規
主幹 小牧 伸行
課長補佐 川村由美子
係長 吉岡 素子
係長 成毛 克明
主任 志賀 伸之

主任 長島 昭太
主任 梅田 聡史
主任 白敷 勝也
(地方税機構派遣・主任)
主査 田中 栄輔
主査 今井 俊郎
主事 井田 拓磨
(企画財政課主事)
主事 本田 智宏
京都地方税機構派遣
主任 山口 周作
(加悦地域振興課主任)
主任 田村 尊彦
宮津与謝環境組合派遣
主任 落合 久志
(福祉課主任)

府後高齢者医療派遣
主事 秦 弘記
京都府自治振興課派遣
主事 小谷 文
(保健課主事)
京都府情報政策課派遣
主事 加藤 昌孝
(教委・教育推進課主事)
企画財政課
課長 植田 弘志
主幹 谷口 義明
係長 和田 直樹
係長 小谷 貴儀
主任 廣野 智史
主任 渡邊 稔之
主査 大江 麻美
主事 園田 研斗
主事 芦田 侑祐
(京都府から派遣)
主事 細見 将吾
主事補 永井 大地
(新規採用)
建設課
課長 西原 正樹
主幹 藤垣 浩二
主幹 柴山 進
(建設課長補佐)
課長補佐 山口真由美
係長 細井 義文

係長 岡本 重幸
係長 長島 裕二
係長 倉田 健史
主任 山本 剛
主任 後藤 周作
主任 由利慎太郎
(水道課主任)
主任 吉岡 弘人
(下水道課主査)
主査 多賀野芳則
技師 倉橋 雄大
技師 大江 勇人
商工観光課
課長 小室 光秀
課長補佐 千賀 忠
(商工観光課係長)
課長補佐 池田 浩樹
(商工観光課係長)
主任 金谷 信康
主任 松本 潤也
主査 廣谷 章彦
(建設課主査)
主査 安田 光樹
主査 金谷 豪
(商工観光課主事)
主事 徳澤 千夏
主査 吉田 伸吾
(再任用)
与謝野町染色センター
技師 増田 通正

岩滝地域振興課
課長 小池 大介
課長補佐 永野 和美
(下水道課長補佐)
主任 本田美佐子
主任 山村 祐輝
会計室
室長 飯澤嘉代子
主査 飯澤嘉代子
主任 浪江 真理
加悦庁舎
課長 森岡 克成
主幹 上田 誠
(建設課長補佐)
課長補佐 宮本 純子
主任 浪江 和徳
主任 小西 哲夫
主任 井上 朱里
主事 山本 陵太
主事 中村 達郎
主事補 西原 康平
(新規採用)
福祉課
課長 浪江 昭人
主幹 前野みゆき
(福祉課長補佐)

主幹 田辺 茂雄
(福祉課長補佐)
主幹 楠 敏幸
係長 香山 優子
係長 東 牧子
係長 青山 潤子
主任 安田雄一郎
主任 岩間 智昭
主任 西村 彰洋
主任 尾上 愛
保健師 梅田 春菜
保健師 橋本 遥
主事補 吉岡美香子
(新規採用)
農林課
課長 井上 雅之
課長補佐 三田 大智
課長補佐 杉本 政也
(農林課係長)
係長 塩見 雅樹
係長 岡本 仁
主任 引野 浩明
主任 井上 公章
主任 松本 朋
主任 中村 有希

課長補佐 大上 寛起
(保健課係長)
係長 香山 優子
係長 東 牧子
係長 青山 潤子
主任 安田雄一郎
主任 岩間 智昭
主任 西村 彰洋
主任 尾上 愛
保健師 梅田 春菜
保健師 橋本 遥
主事補 吉岡美香子
(新規採用)
教委・教育推進課
課長 長島 栄作
主幹 下川 賢司
主幹 山本 泰久
主幹 吉田 雅広
(教委・教育推進課長補佐)
課長補佐 加藤 晴彦
(教委・教育推進課係長)
係長 大江 聡
係長 堀口 義雄
(税務課係長)
主任 吉岡 敦文
主任 堀 由紀子
主事 奥野 真敏

(農林課主査)
主事 荒木 拓哉
議事事務局
局長 奥野 稔
主幹 土田 安子
主任 由利 景子
(議事事務局主査)
教委・教育総務課
次長 櫻 小池 信助
主幹 中上 伸午
(教委・教育総務課長補佐)
課長補佐 岡田 和子
係長 杉本真由美
(教委・教育総務課主任)
教委・教育推進課
課長 長島 栄作
主幹 下川 賢司
主幹 山本 泰久
主幹 吉田 雅広
(教委・教育推進課長補佐)
課長補佐 加藤 晴彦
(教委・教育推進課係長)
係長 大江 聡
係長 堀口 義雄
(税務課係長)
主任 吉岡 敦文
主任 堀 由紀子
主事 奥野 真敏

主事 藤井 彩
主事 小西 勝歩
主事 泉谷 貞行
(新規再任用)
野田川庁舎
野田川地域振興課
課長 坪倉 正明
係長 前田留美子
(岩滝地域振興課係長)
係長 西原 誠
主事 田中 皓詞
主事 本城 智鶴
(再任用)

水道課
課長 吉田 達雄
主幹 山添 雅男
課長補佐 赤西 秀幸
係長 大門 洋
係長 須田 美鈴
(水道課主任)
主任 山崎 友裕
主任 井戸本大輔
主任 牛田 竹史
主任 石倉 康智

主任 加畑 達也
(福祉課主査)
主事 小牧 祥子
主事 蘓理 勝春
主任 加畑 達也
(福祉課主査)
主事 小牧 祥子
主事 蘓理 勝春

作業員 杉本 悟
作業員 明石 和義
作業員 山田八十美
作業員 市田 次男
(再任用)
作業員 石本 節雄
(新規再任用)
国民健康保険診療所
主任看護師 坂根みちよ
主任看護師 伊達 美雪
主任看護師 小西 隆博
理学療法士 南 康海
主事補 上田 充弥
(新規採用)

調理員 倉 宣子
(加悦保育園調理員)
岩屋保育所
所長 徳田 順子
(市場保育所長)
主任 岩佐 容子
主任 浪江 幸代
主任 岡井 裕子
主任 上山 晃平
主任 木村 杏美
主任 山崎 妙美

保育士 西嶋 郁子
(山田保育所保育士)
保育士 和田佳那子
調理員 倉橋真奈美
加悦保育園
園長 牛田 睦美
園長補佐 森津 清美
主任 青木あゆ美
主任 岩根 玲佳
主事補 大松 徳喜
(新規採用)
調理員 吉田千代野
(岩滝保育所調理員)
与謝保育園
園長 隅垣恵理子
主任 小牧伊佐子
主任 松本 香代
(与謝保育園保育士)
主任 杉本 景子
主事補 大江 瑛美
(新規採用)
調理員 河辺 咲子

三河内小学校
園長 平野 栄
主任 前田 裕美
(与謝保育園主任保育士)
教諭 竹原 七緒
教諭 三輪 香里
主事補 山添有紀子
(三河内幼稚園副園長)
岩滝小学校
主任 國屋 和秀
主任 仲西 孝子
(再任用)
三河内小学校
主任 富田 順照
市場小学校
主任 浪江 謙
(与謝小学校作業員)

橋立中学校
作業員 木村 功
(新規再任用)
加悦中学校
作業員 今井 康夫
退職者(3月31日付)
森本 田鶴子
(桑飼保育園長補佐)
浪江 圭子
(三河内幼稚園副園長)
糸井 典子
(石川保育所長補佐)
森岡 智史
(加悦保育園保育士)
山本比登志
(阿蘇電照苑作業員)
石本 節雄
(衛生プラント作業員)
木村 功
(橋立中学校作業員)
後藤知恵子
(再任用任期満了)

課長 秋山 誠
主幹 安田 敦
(税務課長補佐)
課長補佐 市田 桂一
係長 和田 吉平
係長 河野 宏行
(税務課主任)
主任 井崎 洋之
主任 大江 伸和
(税務課主査)

課長 朝倉 進
主幹 平 勝成
係長 堀場理恵子
主任 大上 知子
主任 山口 高平
主任 松井 陽一

野田川衛生プラント
主任 瀨戸真由美
主査 鈴木 雅之
(再任用)
野田川衛生プラント
主任 瀨戸真由美
主査 鈴木 雅之
(再任用)

岩滝保育所
所長 山崎 温子
主任 細見 厚子
主任 市田 史穂
主任 市田 朋子
主任 糸井裕美子
主任 小中 麻由
主任 上野 耕平
(与謝保育園保育士)

所長 東垣 恵子
主任 浪江 博美
主任 加畑 志保
主任 三宅 夏希
主事補 西川 知里
(新規採用)
調理員 安田 弥生
石川保育所
所長 谷原 良子
主任 中瀬知英美
主任 松本 和美
主任 藤原 知世

園長 山崎ひろ美
園長補佐 山添扶美子
(桑飼保育園主任保育士)
主任 堀 綾美
(桑飼保育園保育士)
園長 隅垣恵理子
主任 小牧伊佐子
主任 松本 香代
(与謝保育園保育士)
主任 杉本 景子
主事補 大江 瑛美
(新規採用)
調理員 河辺 咲子

園長 平野 栄
主任 前田 裕美
(与謝保育園主任保育士)
教諭 竹原 七緒
教諭 三輪 香里
主事補 山添有紀子
(三河内幼稚園副園長)
岩滝小学校
主任 國屋 和秀
主任 仲西 孝子
(再任用)
三河内小学校
主任 富田 順照
市場小学校
主任 浪江 謙
(与謝小学校作業員)

森本 田鶴子
(桑飼保育園長補佐)
浪江 圭子
(三河内幼稚園副園長)
糸井 典子
(石川保育所長補佐)
森岡 智史
(加悦保育園保育士)
山本比登志
(阿蘇電照苑作業員)
石本 節雄
(衛生プラント作業員)
木村 功
(橋立中学校作業員)
後藤知恵子
(再任用任期満了)

最近、私は3週間アメリカに帰郷しました。とても楽しい旅行でした。

帰郷中、友達や家族との会話の中で、私は「日本に戻ったら飛行機より電車に乗りたい」と何度も話しました。実は、私は電車に乗ることが大好きです。なぜなら、それは私にとって最もリラックスして旅行する方法だからです。電車に乗りながら窓の外を眺めると、他では見ることのできない色々な美しい景色を見ることができます。また、知らない土地でも迷うことなく安心して周りの地域のことを知ることができます。これは私が日本で生活する間に見つけた楽しみです。

アメリカの交通事情は日本とは違います。私の故郷であるテネシー州は、現在私が暮らしている岩滝地区よりずっと多い人口と大きい面積があります。私の町には歩道がありません。小中学校の子どもたちは、学校に行くためにスクールバスに乗るか、親が送り迎えをします。ほとんど誰も歩いて学校には行きません。子どもたちが自分たちだけで外を歩くことはとても珍しいことです。子どもたちは自分の家の庭か友達の家で遊びます。

私の町には公共交通機関がありません。アメリカではどこに行くときも車を運転しなければならないため、運転免許を持つことが必須です。私は16歳で運転免許を取得し、それからずっと車を運転し続けています。アメリカでは、運転免許を持っていないければ行きたい場所に行くことはと



これは日本で使っている車です。とても便利です

ても難しいです。もし、遠い場所に行くためには、長時間車を運転しなければならないか飛行機に乗らなければなりません。アメリカでは安い価格で飛行機に乗ることができます。飛行機はとても便利な移動手段であり、車より早いです。大きい町か都市なら公共交通機関がありますが、私の故郷のような小さい町には通常ありません。私の父は車を運転することが大好きなので、よく遠い場所まで運転します。私が子どものころに一度、父は家族を乗せてメキシコの実家まで車を運転しました。テネシー州からメキシコまで1週間ぐらいかかりました。

一方、日本では、たくさん車があるのに必ずしも運転は必要ではありません。与謝野町の様な小さな町でさえも、タクシー、バス、電車などがあります。車を持ってない友達をよくバスに乗って、私たちに会いに来てくれます。もっと遠い場所に行きたい場合は、飛行機や電車に乗ることができます。どの方法もとても便利です。

私にとって、電車に乗ることは最もお気に入りの移動手段ですが、この地域は小さいので電車はそんなに本数がありません。そのため、最も便利な交通手段は車です。私は電車やバスを待つことなく、自分の車を使って行きたい時に行きたい場所に行くことが好きです。

けれども、電車は快適でお気に入りの交通手段なので、アメリカに帰ったときはそれが恋しくなります。

時の贈り物 [第30回 「エンガキ」古民家にみる意匠と機能]



エンガキ 格子

ちりめん街道の古民家にみられるエンガキは、街道と屋内とを仕切る建具です。街道に面したザシキの縁先に取り付けられています。格子戸と同じように、建物の内と外を完全に遮ることなく結びつける建具で、格子戸よりも通りに開かれています。エンガキは、縁先の柱の外側に、溝を切った部材を縦向きに取り付け、そこに上から落とし込んで建てます。

エンガキは、ちりめん街道の町並みの特徴を表す要素のひとつです。ザシキの縁側が街道に面する主屋17棟のうち、10棟にエンガキが設けられています。エンガキの造りの違いを実際に見るのも楽しいです。格子とエンガキが混在することにより、個々の建物の外観だけでなく、町並みにも変化が生まれています。エンガキの造り

与謝野町教育委員会

図書館へ行こう！

お弁当を食べよう

暖かな春の陽気に誘われて、青空の下、みんなでお弁当を食べる方も多いのでは？新学期や行楽シーズンにむけて、手作りのお弁当にチャレンジという方たちにお勧めです。

『傷みにくいお弁当&作りおきおかず 衛生対策がわかる!』

武蔵裕子/成美堂出版

温かくなってくると心配なのが食中毒。おいしく簡単そして安全なお弁当を手作りするための、食材別調理テクニックや、お弁当箱やキッチン用品のお手入れ方法が分かります。毎日のお弁当やお楽しみイベント弁当にぴったりのレシピも紹介した1冊。



『461個のお弁当は、親父と息子の男の約束。』

渡辺俊美/マガジンハウス

高校3年間で作られた461個のお弁当には、栄養いっぱいのおかずと父の愛がたっぷり詰められていました。著者はおかず作りや盛り付けがみるみる上達します。弁当を必ず空にして持って帰る息子との、お弁当を通しての親子の絆を描いたエッセイ。



『わくわくおべんとう』

おおでゆかこ・福田淳子/河出書房新社

かわいいイラストの動物たちが、さまざまな「はじめて」を分かりやすく教えてくれるシリーズの1冊。おにぎり、サンドウィッチ、三色そばろにウィンナーと、子どもも大人も大好きなお弁当の作り方が書かれています。家族みんなで作ったら、もっとおいしく、忘れられないお弁当ができることでしょう。



『べんとう』

小西英子/福音館書店

さあ、まずはお弁当箱を用意。さて何から入れようか？炊きたてごはんはミートボール、そしてふんわり卵焼き…カラフルなおかずを詰めておいしいお弁当のできあがり。リズムカルな言葉は読み聞かせにぴったりです。パンが好きな人にはシリーズの『サンドイッチサンドイッチ』がおすすめ。

4月23日は子ども読書の日

4月23日～5月12日は子どもの読書週間です。

子どもたちが、万華鏡をのぞくようにドキドキわくわくしながらページをめくるそんな本との出会いを図書館は応援します。



- 『思い出をデジタル化して永久保存する本』洋泉社 ●『裏が、幸せ。』酒井順子/小学館 ●『イスラム国 テロリストが国家をつくる時』ロレッタナポリオーニ/文藝春秋 ●『地震と火山』鎌田浩毅/学研パブリッシング ●『むしのほん』エドワードゴリー/河出書房新社 ●『ブラックオアホワイト』浅田次郎/新潮社 ●『刑事群像』香納諒一/講談社 ●『千日のマリア』小池真理子/講談社 ●『レオナルドの扉』真保裕一/KADOKAWA ●『STORY OF UJI』林真理子/小学館 ●『47都道府県あなたの県の怖い話 全2巻』並木伸一郎/理論社 ●『齋藤孝のイッキによめる!日本の偉人伝 齋藤孝/講談社 ●『世界がみえる地図の絵本』ブライアンデルフ/あすなろ書房 ●『もしも学校に行けたら』後藤健二/汐文社 ●『群青のとき』今井絵美子/KADOKAWA

藤本ともひこさんによる絵本ライブ

3月22日に知遊館で東京から絵本作家藤本ともひこさんをお招きし、絵本ライブを開催しました。親子連れを中心に109人が参加し、読み聞かせ、ギターに合わせた遊び歌、ダイナミックな新聞遊び



笑いのある楽しい読み聞かせとなりました

など、笑い声あふれる楽しいひと時を過ごしました。また、絵本作りに際して、言葉にあわせた絵の構図や裏表紙での工夫といった作成秘話も披露され、子どもはもちろん大人にとっても興味深いお話を伺うことができました。

図書館おはなし会

- <本館> 5月9日(土) 午後3時～
- <加悦分室> 4月11日(土) 午前10時30分～
- <野田川分室> 4月18日(土) 午前10時30分～

- 問い合わせ先/与謝野町立図書館 ☎46-2451 加悦分室 ☎43-0376 野田川分室 ☎43-0087
- 開館時間/午前10時～午後6時(分室のみ:平日13:00～14:00 休館)
- 休館日/毎週月曜(本館・加悦分室)、毎週火曜(野田川分室)、毎月最終木曜(共通)

健康を維持するためには自分の健康は

平成22年度よりスタートしたつどいの教室は今年で5年目になりました。健診事後に自分の体と向き合い、生活習慣を見直すきっかけづくりに毎年多くの方が教室に参加されています。この教室は、全国各地で健康づくり活動に取り組むNPO法人「元気寿命を創造する会」の管理栄養士、健康運動指導士、町の保健師で運営しています。5年目を迎えた今年度は、修了生が集まれる場を提供し、教室終了後の様子確認や、講演会などの専門家の話や参加者同士の交流をおして、健康づくりは継続していくことが大切であること、また健康に対する意識を高めることを目的に教室を開催しました。

「教室の様子」

◎講演会

川崎医療福祉大学 教授 長尾光城先生を講師にお招きし、「元気の秘訣は自己管理から」と題しお話をいただきました。

【参加時の状況】 肥満、血糖値、血圧が高い。腰痛、足のしびれがあり歩くのが困難。
【取り組み内容】 体重や血圧測定、記録をする。ご飯量を減らす。野菜中心、食べる順番を工夫。習ったストレッチを毎日実施。
【取り組み後の変化】 減量成功中、足のしびれがなくなり整形外科に通わずにすみ、歩きやすくなった。血液検査の結果も改善しつつある。
【感想】 教室終了後は、気が緩むことがあったが、できることを継続した。これからも頑張っていきたい。



70代男性
H24 栄養教室終了生
H26 糖尿病講座終了生

自分で管理することが大切である。自分のからだや生活習慣を振り返り、「自分を知る」こと、そして、「自分に必要な自分にあつた」食事・運動などの健康づくりの取り組みを「継続」することを勧められました。

◎管理栄養士による食事のほなし他
 健診結果から体の変化を確認したり、これまでの教室参加者（143名）の食事調査をもとに病態別に食事のポイントを聞きました。

◎交流会
 交流会では、参加年度に分かれ、教室終了後の様子や継続している健康づくりの取り組みについて話し合い、最後に各グループ代表



交流会で取り組みについて話し合う

「参加しての感想(アンケートより抜粋)」

- ・自分にあつた運動を、自分にあつた運動量でするのが良いということ、その運動を続けることが大切ということを学びました。継続は力なりですね。
- ・自分のペースでコツコツ続けるということが一番印象に残りました。5年後、1年後を目標にするくらいの気持ちで長く取り組もうと思いました。

今回の教室では、教室終了後の様子や健康づくりの取り組みについて確認することができ、自分に必要な健康づくりの取り組みを継続されていました。健康づくりには、仲間やスタッフの刺激はもちろん、ご家族の応援と自身の意思や努力が必要です。年に一度は健診を受け、自分の体に目を向けて、健康づくりに取り組んでみませんか。

平成27年度も健診事後の教室を予定しています。町の国保特定健診を受診した方で健診の結果により参加できる教室が異なります。教室のご案内があった方はご自身の健康づくりに活用ください。

引越しをされた方は図書館へお知らせください

図書館利用者カードをお持ちの方で、新年度になり引越しなどで住所などが変わられた方は図書館へ連絡をお願いします。また初めて図書館の本を借りるには、免許証・保険証など・名前、住所が確認できるものを持参のうえ図書館までお越しください。利用者カードをお作りします。

広告

老人医療費助成制度について

制度改正に伴い、マル老の受給者証をお持ちの方(対象年齢は65歳から69歳まで)については、医療費の窓口負担が1割でしたが、4月から2割に変更されましたので、お知らせします。

問い合わせ先 保健課 ☎43-1514

広告



災害図上訓練を実施しました



災害図上訓練を行いました

●丹後大震災から88年もしもの時に備えて

3月2日、消防団では京都府と京都大学大学院小山特定准教授にご協力いただき、加悦方面隊を対象に災害図上訓練を実施しました。いつもの火災想定訓練とは異なり少し和やかな雰囲気のもと始まった訓練ですが、次第に意見交流や発言も熱を帯び、実災害さながらの訓練となりました。今回は、訓練の様子をお伝えするとともに、地元の防災について考えていただくきっかけにさせていただきたいと思います。

●災害図上訓練とは (DIG: Disaster Imagination Game)

地図を用いて行う訓練で、危険が予想される地帯や事態をかき込み、防災対策を検討する訓練。リスク・コミュニケーションの手法の一つで、危険の予測や避難経路や避難場所などのハザードマップ的な役割を果たすのと同時に、地域住民や関連機関の対策や連携も検討できる。

DIGの様子

当日は、加悦方面隊の消防団42名が参加。防災についての講義を受けた後6、7名のグループに分かれてDIGを行いました。



予想される災害などを書き込む

DIGの基本は地域地図への書き込み。予想される災害や被害を色分けしていきます。過去の災害を参考にしたり、よく知っている地域については想定したりしながらの書き込みは地元をよく知る消防団の強みです。与謝野町の発行するハザードマップも参考にしながら水害や地震、土砂災害を想定していきます。



災害エリアの多さを確認

地図が完成したら、家屋倒壊が複数発生したという想定のもと、「誰が」「どのように」対応をとるか考えました。



対応の取りかたを考える

- ・閉じ込めの確認
- ・救出救助作業
- ・けが人
- ・集会所 …等
- ・アドバイスも受けながら考えます。

図上訓練の最後は、各グループからの発表でしたが、重要な点は「まとめること」ではなく「論議による気付き」であり、中身を共有できることがDIGの優れた点であると実感しました。また、この訓練によって消防団がすべきことも考えることができました。

消防団では、今回行ったDIGによる訓練以外にも、AEDによる人命救助の訓練も行っています。AEDによる救命講習は10名ほどの人数が集まれば公民館などでも受講できます。詳しくは宮津与謝消防署救急係 ☎46-6119 までお問い合わせください。

明石俳句会
 秋風と
 感じる朝の散歩道
 淑子

〔開催日〕
 毎月 第2月曜日
 午後1時〜4時

〔場所〕
 明石地区公民館

〔講師〕
 天野逸風子

〔連絡先〕
 市田純子
 ☎42-4691

広告

卯の花句会
 廃屋の主は龍馬雲白し
 義仁

〔開催日〕
 毎月 第3水曜
 午後7時15分〜9時45分

〔場所〕
 知遊館

〔代表〕
 白数康弘

〔連絡先〕
 白数宏子
 ☎46-3819

広告

平成 26 年度全国中学校体育大会
全国中学校スキー大会 女子回転 (2/2 ~ 8・青森県)

井谷 梓 さん (江陽中 2 年)



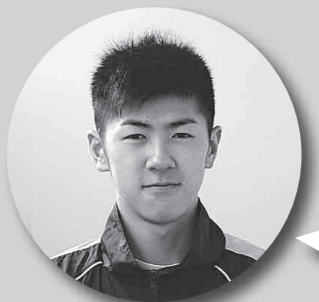
昨年に引き続き全国大会への出場を果たした井谷さん。「2本目で失敗してしまい、目標としていた順位ではなかったため、結果には満足していません。来年は30位台を目指して頑張る」と決意を新たにしました。(回転: 64位)

中学生アスリート 全国大会結果

2月から3月にかけて行われた、全国大会の感想、これからの抱負などについてインタビューしました。

第 28 回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会
京都府代表 出場 (3/28・東京)

四宮 将貴 君 (江陽中 2 年)



京都府代表の選抜選手として全国の強豪選手たちと試合をした四宮君。「試合で負けたのは悔しいけど、全国で学んだことはたくさんあり、江陽中のチームでも活かしていきたい」と話し、キャプテンとしても活躍する四宮君に注目です。

第 33 回 J S B A 全日本スノーボード選手権大会
デュアル・スラローム (3/12・岐阜県)

清水 大智 君 (橋立中 1 年)



競技を始めて1年3ヵ月という短い期間で全国大会に出場を果たした清水君。「1本目で転倒してしまい16位という結果となり満足していません。来年は全日本1位を目指す」と力強く語ってくれました。(デュアルスラローム: 16位)

平成 26 年度京都府農地・水・環境保全向上
対策協議会優良組織表彰

滝・金屋中山間振興会

滝・金屋中山間振興会(代表 小田浩二氏)が平成26年度京都府農地・水・環境保全向上対策協議会優良組織表彰にて最優秀賞(京都府知事賞)を受賞しました。

優良組織表彰は多面的機能支払活動組織に対して平成25年度から行われており、農地・水・環境の良好な保全と質的向上をめざし、地域ぐるみで効果の高い活動を実践している優良な組織を表彰しています。

過疎化・高齢化集落が連携して地域の課題に取り組むため、滝・金屋地区は地区内に複数あった農業関係組織

を一本化し、事務所を設置して事務員を配置するなど組織の運営強化を図ったこと、また京都Xキャンプによる若者との交流などが高く評価され、今回の受賞となりました。



左/小田さん 右/事務員の杉原さん

京都府農林水産フェスティバル表彰式典

● JA 京都与謝野町加工契約野菜部会

● 千賀 誠八郎 さん ● 中谷 忠史 さん

平成 26 年 11 月 29 日、京都府農林水産フェスティバルが開催され、その中で、京都府農林水産業功労者表彰、京都府若手農林漁業者表彰等が行われました。

表彰式では、千賀誠八郎さん(温江)が、有機質肥料(京の豆っこ)を活用した環境に優しい農業を実践するほか、6次産業化にも取り組み、JA京都の理事や与謝野町水田農業推進協議会の会長など長年にわたり各種団体の役職を歴任し地域に貢献したことが評価されました。また、JA京都与謝野町加工契約野菜部会(会長 井崎晴夫氏)は、生産農家の所得向上に貢献したことが評価され「京都府農林水産業功労者表彰」を受賞しました。

さらに、中谷忠史さん(滝)は(有)あつぷるふぁーむの取締



左から加工契約野菜部会長 井崎さん 千賀さん、中谷さん

役として与謝野町が推進する自然循環農業に積極的に取り組み地域農業の振興と発展に貢献したことが評価され、「京都府若手農林漁業者表彰」を受賞しました。

まちの話題 お届けします



● 京都 X キャンプ
特別住民票を交付

京都 X キャンプが、昨年の夏に引き続き春も行われ、さまざまな活動を企画し、地域を元気にしました。

3月5日に、山添町長から京都 X キャンプ卒業生に対して町内で村づくりに貢献してくれた学生への感謝とさらなる交流促進の気持ちを込めた『特別住民票』が交付されました。

3月7日、8日には、春キャンプの成果発表会が喫茶あつぷるふぁーむ(滝)で行われました。

人口減少が見込まれる中、与謝野町を応援してくれる潜在住民者を増やす取り組みが進められています。



みんなで記念撮影

● 大学生ボランティアサークルによる清掃活動
カキ殻、ゴミなど約3ト回収

IVUSA(国際ボランティア学生協会)に所属する京都の大学生約30人と阿蘇海環境づくり協働会議等による、阿蘇海沿岸のカキ殻回収、野田川(堂谷橋付近)の清掃活動が3月12日に行われました。

近年、阿蘇海ではカキが繁殖し、悪臭など問題となっており、この日回収したカキ殻は約3ト。参加した学生からは、「想像以上に多く繁殖していた」と驚きの声が上がっていました。

また、野田川の清掃活動も行うなど、町内の環境美化に貢献しました。今後も同学生サークルによる活動が3回予定されています。



学生ボランティアの皆さんによるカキ殻回収



感謝状を受け取る加悦小学校長

● 「人権の花」運動 感謝状伝達式
スイセンの花を育てました!

3月11日、加悦小学校の人権の花運動に対し宮津人権擁護委員協議会・京都地方法務局宮津支局・与謝野町から連名で感謝状が贈られました。

この運動は主に小学生に対する人権啓蒙の一方策として、昭和57年度から全国的に実施されているもので、子どもたちが協力して花を育てることを通して、命の大切さや思いやりなど人権に対する意識を身につけてもらうことを目的としています。

● 平成 26 年度与謝野町人権啓蒙優秀作品表彰式
“人権”を考えました

町内の小中学生から、人権に関する作品を募集し、優秀作品を表彰することによって人権意識の高揚を図る「平成26年度与謝野町人権啓蒙優秀作品表彰式」が2月28日、加悦地域公民館で行われました。

表彰式では、町内の小中学生から応募のあった547点の作品の中から、人権標語の部31点、人権作文の部5点、人権ポスターの部17点の計53点の作品が優秀作品として表彰されました。



権見教育長から表彰される受賞者



表彰を受けた福井博康さん

● 与謝野町特別職員表彰式
地域のリーダーを表彰

与謝野町特別職員表彰式が3月6日、与謝野町役場で開催され、長年にわたる特別職員としての功績をたたえて福井博康さん(幾地)が表彰されました。

表彰式では、常に地域社会の発展のために献身的な活動を続け、指導的役割を果たしてきた功労と功績をたたえ、山添町長から表彰状が手渡されました。

旧野田川町時代も含め、24年以上にわたり交通安全対策委員会委員を務め、交通安全対策について積極的に発案するなど、住民の交通事故防止に多大な貢献を果たしました。

● 感謝状贈呈式
住民の防犯交通意識を高める!

3月12日、加悦地域振興課に「有線テレビ」において「情報110番宮津警察署」という番組を制作し、住民の防犯・交通意識の高揚に寄与するなど地域の安心安全に多大な貢献を果たしたことが認められ、宮津警察署から感謝状が贈呈されました。

加悦地域振興課長は、「これからも連携して、タイムリーな番組を届けていきたい。そして住民の防犯・交通意識の高揚につながれば」と話しました。



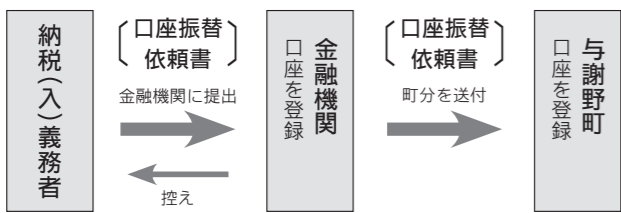
左/京都府宮津警察署長の田中敏昭氏 右/加悦地域振興課森岡課長

町税等の納付は便利な口座振替で！

町税や公共料金の納付

☎ 会計室 46-3007

■口座振り替えの手続きから振替スタートまで



次回から口座振替スタート

依頼書提出から登録完了まで 1ヵ月前後

※納付書の発送準備をする月中旬までに役場の登録を完了したものが、その回から口座振替になります。依頼書の提出後に納付書が届いた場合は、その回は届いた納付書で納めてください。

【金融機関】

- 京都銀行
- 京都北都信用金庫
- 京都農業協同組合
- ゆうちよ銀行

【口座振替依頼書】

- お届けに必要な「口座振替依頼書」の用紙は、役場各庁舎、京都銀行・京都北都信用金庫・京都農業協同組合・ゆうちよ銀行の町内各支店にあります。
- 依頼書の記入には、金融機関お届け印と納税

【振替日】

口座引き落とし日は、基本的には月末です。なお、月末に引き落としできなかった場合は、翌月15日に再度引き落としを行います。(※月末や15日が休日の場合の引落日は、翌営業日です。)

【問い合わせ先】

口座振替についての質問は、税(料金)担当課または会計室まで。

町税や公共料金の納付を口座振替(口座からの自動引き落とし)にしていただくと、役場や金融機関にお出掛けいただく手間が省け大変便利です。「納付書が見当たらない!」「うっかり納付を忘れて督促状が届いた!」などの納付に関するトラブルを防ぐこともできます。

新しい年度が始まるこの時期に、ぜひ口座振替をご検討ください。

(付) 義務者の押印が必要です。

依頼書には(誰の分の何(税目・料金名)をどの口座から)引き落とすかをお書きください。(誰の分「納税(付)義務者名」については、現在納付書で納めていただいている場合はその納付書をもとにお書きいただくのが確実で、これから新しく始める分をお届けいただく場合には、その税(料金)の担当者にご確認いただくことをお勧めします。

依頼書は金融機関にご提出ください。

ふるさと納税ありがとうございます

<ul style="list-style-type: none"> ● いただいたご寄付は目的に沿って活用します。(期間:平成26年9月10日~平成27年3月31日) ● 松本祐輔様 (千葉県) 15,000円 ● 本城成哉様 (大阪府) 10,000円 ● 匿名 (和歌山県) 30,000円 ● 福田裕子様 (兵庫県) 10,000円 ● 匿名 (京都府) 30,000円 ● 匿名 (東京都) 10,000円 ● 藤井道子様 (東京都) 200,000円 ● 上田善規 (大阪府) 202,000円 ● 平野真由様 (福島県) 5,000円 ● 小牧孝充様 (大阪府) 30,000円 ● 永井哲也様 (三重県) 30,000円 ● 渋谷秀隆様 (京都府) 50,000円 ● 匿名 (京都府) 120,000円 ● 匿名 (京都府) 50,000円 ● 匿名 (和歌山県) 50,000円 ● 匿名 (京都府) 20,000円 ● 小原一芳様 (大阪府) 20,000円 ● 期間合計 17名 882,000円 ● 平成26年度合計 28件 1,452,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ● ふるさと納税いただいた方々から与謝野町へのメッセージが届いています。 ■ 浪江宏宗様 山添町長、健康に留意して政策を実現してください。 ■ 藤井道子様 山添町長のもとで、まちづくり事業、頑張ってください。 ■ 匿名 空家だった実家を昨年からはデイサービスに利用していただいています。家を壊すこともなくなり、運営されている方々に感謝しています。また、亡くなった母が長年一人暮らししていたのも、近所の方のおかげであり、ありがとうございました。実家のまわりも高齢の方が多くなっていますが、みなさん楽しく暮らせるよう願っています。 ■ 平野真由様 少子高齢化が進み、多くの町民の方々がまちの将来を心配されていることとお察しいたします。私自身は与謝野町の出身者ではありませんが、祖父母に会うために幼い頃から何度も訪れた与謝野町は、私にとってかけがえのない心のふるさとです。現在の、そして未来の与謝野町のために少しでもお役に立てるのであれば、これほど嬉しいことはありません。
--	---

本格的に始動しました

与謝野町まち・ひと・しごと創生有識者会議

☎ 企画財政課 46-3084

地方創生の取り組みとして「与謝野町人口ビジョン(案)」、「与謝野町まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」を検討するため、民間の方で組織する有識者会議の第1回会議が3月12日に開催されました。

座長には京都府立大学公共政策学部の杉岡秀紀先生が選出され、結論ありきの一方通行的な会議ではなく、委員が自ら発言しグループで議論をまとめていく「ワークショップ」形式を進めていくことを確認。今後、「しごと」、「ひと」、「まち」について課題解決の議論が本格的に行われることとなりました。また、委員11人のみの議論で終わらず、住民の皆さんの意見を聞く仕掛けも検討されることになっています。

本有識者会議は次回以降、公開され、さらに会議内容が公表されますので、注目してください。

- 【委員紹介(敬称略)】**
- 座長 杉岡秀紀 (京都府立大学公共政策学部講師)
 - 委員 足立経彦 (与謝野町子ども子育て会議会長)
 - 委員 安藤太郎 (株式会社京都銀行岩滝支店長)
 - 委員 糸井満雄 (与謝野町老人クラブ連合会会長)
 - 委員 岡田三栄子 (与謝野町教育委員会教育委員長)
 - 委員 佐々木貴昭 (与謝野町海の京都実践者会議会長)
 - 委員 柴田祐史 (柴田織物代表)
 - 委員 杉原千明 (京都府里の公共員)
 - 委員 高岡政義 (与謝野町行政改革推進委員会委員)
 - 委員 土井継人 (特定非営利活動法人TEAM旦波代表理事)
 - 委員 水口慎太郎 (京都北都信用金庫)

【丹後産コシヒカリ】特Aの評価を受ける

(一財)日本穀物検定協会が発表した平成26年度産米の食味ランキングで、今年も丹後産コシヒカリが、最高ランクの「特A」を獲得しました。食味ランキングは、炊飯した白米を試食して評価する食味官能試験に基づき、全国の産地・品種について食味試験を行い、その評価をランキングで発表しているものです。複数産地のコシヒカリのブレンド米と比較して、特に良いものを「特A」、良いものを「A」、など5段階に評価しています。昨年は日照不足が続き、獲得が危ぶまれましたが、丹後米改良協会から農家へ技術対策等をメルマガ配信するなど、産地一体となって良品米づくりに取り組んだ結果、平成23年度から4年連続、通算12回目の「特A」の評価を受けることができました。

納期限までに納付をお願いします

平成27年度町税等の納期

☎ 税務課 44-2084 / 保健課 43-1514

税目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	納税通知書の送付日
町民税府民税 普通徴収			6/30(火)		8/31(月)		11/2(月)			2/1(月)			6月中旬
固定資産税		6/1(月)		7/31(金)		9/30(水)			12/28(月)				5月中旬
軽自動車税		6/1(月)											5月中旬
国民健康保険税			6/30(火)	7/31(金)	8/31(月)	9/30(水)	11/2(月)	11/30(月)	12/28(月)	2/1(月)	2/29(月)	3/31(木)	6月中旬 ※納付書は毎月送付

【納期は月末です】

各税目とも、納期は月末ですが、その日が土・日・祝日の場合はその翌日となります。

納期を過ぎると督促を送付することになりますので、期限までに納付をお願いします。

【納付方法】

- 町府民税・固定資産税 町府民税は6月に、固定資産税は5月に1年分(各4枚)の納付書をまとめて送付しますので、なくさないようにしてください。
- 国民健康保険税 口座振替以外の方は、納付書を毎月送付します。
- 一括納付の方は、一括用納付書を使って納付してください。
- 口座振替納付の方は、一括納付の方は、4枚の納付書を使って納付してください。

滞納税相談窓口

※納期を過ぎた町税の納付相談窓口
京都地方税機構 丹後地方事務所
京丹後市役所 大宮庁舎 3階
☎ 0772-68-1041

各税目の第1期納期限に振替します。各税目の納期限に振替します。

● 納期を過ぎると延滞金が課されます。納期限を過ぎてから納付した場合、納期限の翌日から完納の日までの日数に応じて、年9.1%の割合を乗じて計算した延滞金を課することになります。

※納期限の翌日から1ヵ月を経過する日までの期間については年2.8%です。ただし、これらの割合は毎年変動します。

訂正とお詫び

『広報よさの3月号』(No.109)において内容に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びいたします。(下線部が訂正箇所)
■ P 14
 おめでとうございます
 市田 雅哉



道の駅を地域の拠点に！

道の駅エリア再構築に向けて

☎ 商工観光課 ☎ 46-3269



国土交通省近畿地方整備局から選定証を受け取る町長

「道の駅シルクのまちや」がこのほど、地域活性化の拠点として意欲的な取り組みが期待されるとして、国土交通省近畿地方整備局から、重点「道の駅」候補として選定されました。「道の駅」は、平成5年に創設されて以来、休憩所としての機能以外にも、地域のにぎわいや雇用を生み出す場として、現在全国には1040カ所に広がっています。

重点「道の駅」候補に選定！

「道の駅シルクのまちや」は、平成7年4月に府内3番目の道の駅としてオープン以来、丹後地域への玄関口としてたくさんの人々を出迎えてきました。この選定を契機に、地域活性化の拠点として新たなスタートを切ります。

道の駅エリア再構築検討会発足

重点「道の駅」候補として選定されたことを受け、道の駅エリア再構築検討会が発足し、3月12日には元気館で第1回目の検討会が行われました。地域住民や農業生産法人、周辺施設が参画する検討会では、道の駅を拠点に、周辺エリアを「滞在交流

エリア」として再構築することをめざします。検討会では、東京農工大学客員教授の福井隆さん(ふくい たかし)を進行役として、ワークショップが展開され、道の駅が出来てよかったことや課題について意見交換が行われました。平成27年9月までに検討会を重ね、実現性のある次の展開を見据えた「道の駅エリア活性化計画(仮称)」を策定し、再構築に向けた取り組みを進めていきます。



今後の展開が期待される検討会

2 月入札結果

☎ 総務課 ☎ 46-3003

入札日	工事名	場所	業者数	落札業者名	予定価格(万円/概数)	最低制限価格	落札金額(万円/概数)	落札率(%)	工事期間
2/23	下山田井堰改修工事	上山田	4者	石本建設(株)	94,270	84,843	84,843	90.0	H27/3/4~3/31
2/23	二本松線道路改良工事	幾地	2者	(株)井田建設	4,317	3,740	3,740	86.6	H27/2/28~3/31
2/23	橋本後野線側溝整備(その1)工事	後野	2者	(株)井田建設	1,660	1,431	1,431	86.2	H27/2/28~3/31
2/23	与謝野町役場3庁舎改修等工事設計業務委託	四辻地内他	9者	(株)東亜設計	2,780	-	2,390	85.9	H27/3/4~7/31



みんな男女が共に生きる地域づくり

シリーズ⑪ すすめよう！男女共同参画

☎ 企画財政課 ☎ 46-3084

地域の役は男性にしかできないと思ってしまうませんか？
 地区行事や地域活動の場で、実際には女性が多くの役割を担いながらも、地域をまとめる自治会の役員等に女性が一人もいない状況は珍しくありません。性別による固定的な役割分担意識に縛られ、女性の意見が反映されにくい慣習やしきたりは地域社会にもまだ根深く残っています。
 町の人口の半分は女性です。男女ともに地域において多様な活動ができるよう、それぞれの力を十分に発揮できる環境づくりと、まちづくりのあらゆる分野における意思決定の場に女性の参画を一層推進していくことが大切です。
私たち住民の取り組み
 『男女共同参画計画(後期施策)』より、
 ・地域の習慣を見直し、女性も男性も共に参画できる地域をつくろう。
 ・地区役員などへの女性の登用を進めていこう。
 ・男女共同参画を進める住民活動に参加し、学ぼう。



交通安全に取り組んでいます

与謝野町交通安全対策委員会 ☎ 総務課 ☎ 46-3004

親子交通安全教室が修了しました
 2月末から3月初めにかけて、各保育所(園)・幼稚園で、親子交通安全と修了式を行いました。宮津警察署、交通安全対策委員会、PTA、保護者会の協力のもと、年3回程度の親子交通安全教室を実施しており、今回の教室は、1年間の交通安全教室の締めくくりとなりました。
 親子で小学校の通学路を歩く実地訓練をした後、参加した園児に修了書と記念品を授与しました。

昨年の交通事故発生件数
 与謝野町交通安全対策委員会では交通安全思想の普及・啓発に努めていますが、昨年は町内において48件の交通事故が発生しました。
 平成25年と比較すると、11件の減少となったものの(表1)、宮津与謝管内において死亡事故件数が1件増加しています(表2)。
 引き続き交通事故防止活動に取り組みますが、皆さんもより一層交通安全に努めていただきますようお願いいたします。

●宮津与謝管内交通事故発生件数(表1)

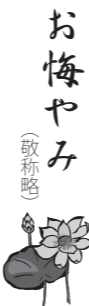
区分	発生件数				H25との対比	
	H26(件)	H25(件)	件数(件)	増減率(%)		
与謝野町	48	59	△11	△16.4		
宮津市	46	55	△9	△18.6		
伊根町	2	2	0	0		
計	96	116	△20	△17.3		

●宮津与謝管内交通死亡事故発生件数(表2)

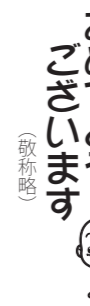
区分	死亡事故				H25との対比	
	H26(件)	H25(件)	件数(件)	増減率(%)		
与謝野町	1	2	△1	△50.0		
宮津市	3	1	2	200.0		
伊根町	0	0	0	0		
計	4	3	1	33.3		



町内に配布している
 広報誌には掲載しています



町内に配布している
 広報誌には掲載しています



まちのうごき
 平成27年2月末現在
 人口 23,276人 (-21)
 男 11,093人 (0)
 女 12,204人 (-21)
 世帯数 9,129戸 (+3)
 ※括弧内は前月比

※この欄で紹介する出生とお悔やみは、2月16日から3月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

まちの話題 ワイド

第26回全国椿サミット 与謝野大会に向けて



● 滝のツバキ（滝山字深山 316 番地）

京都府指定天然記念物（平成元年 4 月指定）
新・きょうと名木 10 選（平成元年 9 月選定）
京都の自然 200 選（平成 3 年 6 月選定）

当町の「町の木」を
ご存知ですか？

「与謝野町のシンボルとしてふさわしい」「地域に愛されるもの」「栽培しやすく鑑賞にも適している」として、「水・緑・空 笑顔かがやくふれあいのまち」のイメージにふさわしい町の木に椿を選定しています。

当町には、京都府指定天然記念物「滝のツバキ」（平成元年 4 月 14 日指定）があります。通称「千年椿」の愛称で親しまれ、日本最長寿級の椿の一つとも言われる大樹で、3 月下旬から 4 月上旬にかけて開花し、改良の進んだ園芸種とは違い原種のもつ簡素な趣があります。

毎年開花時期には「滝の千

年ツバキまつり」が開催され、滝のツバキ鑑賞会や、千本づき、地元特産品販売などが行われます。ぜひ、この機会にツバキ鑑賞にお出掛けされてはいかがでしょうか。

【開催日程】

4 月 19 日（日）
午前 10 時～午後 3 時

【開催場所】

千年椿の里「ちんざん」前広場（滝地区）

【その他】

●シャトルバス運行

本庁舎～野田川庁舎～加悦庁舎～会場

【椿サミットとは？】

全国椿サミットとは、全国椿サミット協議会が主催（42 市町村加入）し、全国の椿愛好家および「椿・サザンカ」を自治体の花・木に選定している自治体関係者などが一堂に集い、情報交換、研究発表、交流会、現地視察などを行うものです。これまで全国各地で開催され、平成 27 年 4 月に

は秋田県男鹿市で開催され、次期開催地として山添町長が与謝野大会への参加を呼びかけます。

当町では、平成 26 年 1 月に椿サミット開催に向けた準備委員会を設立し、サミット開催概要案をまとめ、平成 27 年 2 月には開催概要案を具現化していく「第 26 回全国椿サミット与謝野大会実行委員会（会長 山添町長）」を設立しました。今後は、「滝のツバキ」を活用した行事企画、参加者へのおもてなし等について関係団体と連携し、協議を進めていきます。

【キャッチ「ピー」の募集】

実行委員会では、全国椿サミット与謝野大会を開催するにあたって、町の木「椿」の象徴である「滝のツバキ」の周知と魅力アップを図るため、全国に向けた情報発信を展開していくことを目的にキャッチコピーを募集します。

募集要領等詳しくは町ホームページをご確認ください。

